

令和５年度第４回佐倉市指定管理者審査委員会会議記録

日時	令和５年６月２９日（木）午前９時３０分～午前１１時５０分	
場所	佐倉市役所１号館３階会議室	
出席委員	八木直人委員長、櫻田孝副委員長、室谷利子委員、吉光孝一委員 ※八木委員長は Zoom で出席、菅原委員は欠席	
オブザーバー	元 千葉敬愛短期大学 特任准教授 伊藤 祐子 氏	
施設所管課	こども保育課	飯野課長、池田主査、玉重主査補、 春田主任主事
事務局	資産経営課	谷田部課長、橋本副主幹、山下主査補、 金田主任主事
傍聴人	なし	
議題	１ 申請状況報告〔公開〕 ２ 審査方法確認〔公開〕 ３ 委員協議〔非公開〕 （１）佐倉市立南部児童センター・根郷学童保育所外 ７学童保育所 （２）佐倉市立志津児童センター・上志津学童保育所外 ６学童保育所	

※佐倉市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例第１５条第４項の規定により、専門的見地から助言を頂くため、元 千葉敬愛短期大学 特任准教授 伊藤 祐子 氏に、オブザーバーとしてご参加頂いた。

※八木委員長から Zoom 参加のため議事進行を櫻田副委員長に変更する提案があり、賛成多数により承認された。

１ 申請状況報告

事務局より、全体として延べ１１団体から申請があったことを報告。

２ 審査方法確認

事務局より今後の審査方法について説明を行った。

本日の委員会では、事前審査の結果について所感報告を行い、各申請団体を

対象に個別ヒアリングの必要性を判断した上で、個別ヒアリングを実施するかどうかを決定することを確認した。

3 委員協議

事前の個別審査に基づく、施設ごとの所感報告や意見交換等を行う。

各施設における所感や意見等は、以下のとおりである。

(1) 佐倉市立南部児童センター・根郷学童保育所外7学童保育所 (施設所管課：こども保育課)

(施設所管課報告)

- ・応募者から提出された申請書類を確認したところ、申請資格を有し、欠格事項に該当しないことを確認した。
- ・乳幼児を対象とした事業や、子育て家庭への相談支援の実施により、保護者のニーズを満たすことが期待される。
- ・地域団体との協働による行事開催、学童の過密状態解消への具体的な提案、日常的な中・高校生等のボランティアの受入れなどは特色ある事業であると感じた。
- ・運営により得られた収益で、蛇口の自動水栓化、照明のLED化をした実績がある。

(委員所感報告・意見交換等)

(○：委員質疑 ◎：委員、オブザーバー意見 →：施設所管課・事務局回答)

◎高齢者の施設も手がけており、全体的に福祉に対して非常に深い経験と知識を持っていると考える。

◎利用者の要望や意見を把握し対応する方法について、意見箱の記載が無かったのが気になった。

◎研修実績を見ると、出席人数が少ない。研修を本当に全員が受けられるように実施しているのか気になった。

◎公共性の観点から、外国人利用者に対する支援員の配置について考えられている。

◎配慮を要する児童への対応について同じ施設内に児童発達支援センターが併設されている利点を活かして、アシスト職員、コーディネーターと連携をする

という点は良いが、学童保育所の児童は、児童発達支援センターの児童と違いがあるので、個別的な対応について、もっと具体的な提案があると良い。

◎開館時間の延長について考えられている。

◎配慮が必要な児童が落ち着ける場所の確保について、どのように工夫しているのか気になった。

◎医療的ケアが必要な児童への対応について、委託料に見込んでいるかがわからない。

（個別ヒアリングの実施について）

個別ヒアリングを実施することとする。

（２）佐倉市立志津児童センター・上志津学童保育所外 6 学童保育所

（施設所管課：こども保育課）

（施設所管課報告）

- ・応募者から提出された申請書類を確認したところ、申請資格を有し、欠格事項に該当しないことを確認した。
- ・Web 環境の構築を中心に業務の効率化、リモート研修など働きやすい環境を整え、継続的、安定的な雇用と運営に取り組んでいると感じた。
- ・Wi-fi 設備を運営施設すべてに配置し、学年別、発展段階に対応した学習ソフトを入れたタブレット端末を配置する提案があった。
- ・ICTシステムを導入するという提案は、保護者の負担軽減につながると感じた。
- ・経費削減により発生した利益を利用者へ還元するという提案があったが、提案額自体の縮減がない。
- ・佐倉地区と志津地区での連携し、利用促進とあるが、具体的な連携の方策について疑問を感じた。

（委員所感報告・意見交換等）

（○：委員質疑 ◎：委員、オブザーバー意見 →：施設所管課・事務局回答）

◎高齢者の雇用に関して積極的に雇用していくという記載があった点は評価できる。

◎タブレットによる宿題や各種機会の提供、出欠確認、保護者会、研修など、利

利用者側と運営側の利便性向上について、システム化していく提案が各団体共通して見られた。

◎公共性、企画事業、効用発揮、税負担の部分など具体的な提案がもっと欲しい。

◎収支計画について、算出根拠が不明で疑問に感じる部分がある。

◎無料英会話体験、ロボット製作体験、ドローン体験等、面白い事業内容があった。

◎中高生のボランティア職場体験を計画しているところがあるが、事業計画書の記載が分かりにくかった。

◎新規に役職を作っているところがあるが、配置人数や賃金単価の変更がないため、新規に役職を作った意味が分からなかった。

◎6日間のうち掃除担当が週4日とあるため、残りの2日間の掃除はどうするのか疑問に感じた。

◎看護師、介助可能な保育士の配置と記載があるが、人員配置計画には記載がないところがあった。

◎医療的ケアを必要とする児童、配慮を要する児童に対する具体的な対応、事業の記載が少ないため、児童センター、学童保育所の目的について振り返って、それに基づいた計画が欲しいと感じた。

◎医療的ケアが必要な児童への対応について、委託料に見込んでいるかわからない。

○医療的ケアが必要な児童の受け入れについて佐倉市は実績があるのか。
→実績はない。

（個別ヒアリングの実施について）

個別ヒアリングを実施することとする。

以上